

湖南省公共施設等総合管理計画および個別施設計画について

①計画の概要・計画策定から改訂までの流れ

●湖南省の状況

平成 16 年 10 月 1 日に 2 町合併で誕生した湖南省には、旧両町で整備してきた施設がそのまま引き継がれ、数多くの公共施設を保有している。

湖南省が保有する公共施設の多くは 1970 年代から 1980 年代にかけて建設されたもので、それらの施設は老朽化が進んでおり、年々維持管理に係る経費が増えていく傾向にある。しかも、今後、それら施設の建て替えや大規模修繕には多額の経費が必要となってくる。

これからの人口減少や少子高齢化などに伴い、持続可能な行政運営を図っていくためには、市が数多く保有している公共施設のあり方の見直しが必要である。

平成 26 年 4 月 22 日（総務省）

公共施設等の総合的かつ計画的な管理の推進について

○地方公共団体において、速やかに公共施設等総合管理計画を策定するよう要請

公共施設等総合管理計画の策定に当たっての指針の策定について

○地方公共団体において、本指針を参考とするほか、インフラ長寿命化基本計画を参考として総合管理計画を策定するよう要請

●平成27年3月『湖南省公共施設白書』を策定

施設の現状把握を行い、今後のあり方を検討するための基礎資料

●平成27年6月『湖南省公共施設等マネジメント推進基本条例』を制定

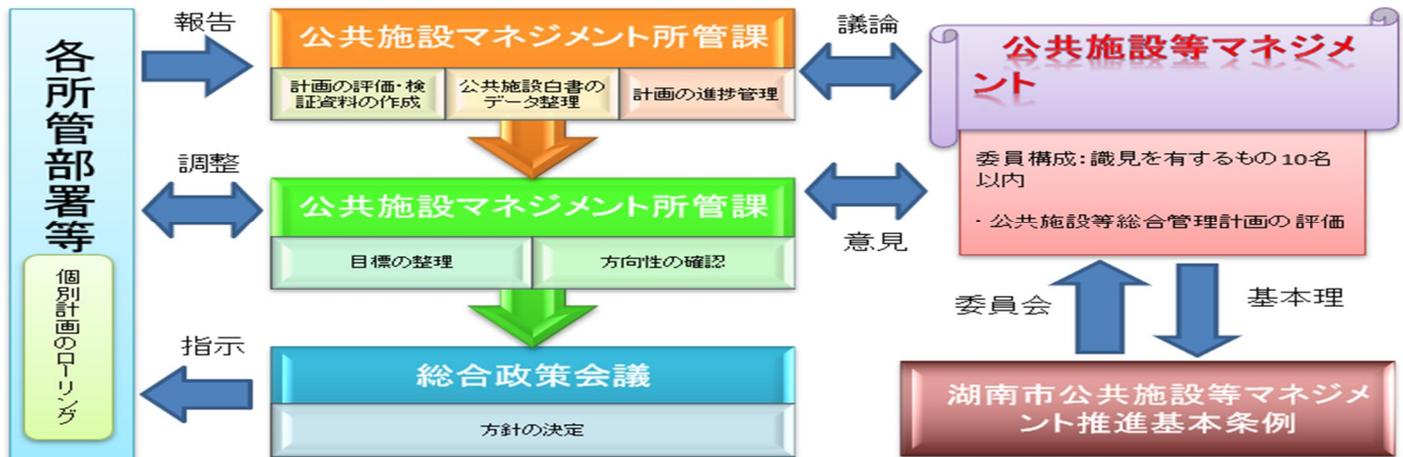
（目的）

第 1 条 この条例は、将来の湖南省における公共施設等の新設、建替え、統廃合、長寿命化及び老朽化対策改修の計画的な取組に関し、その基本理念及び基本的事項を定め、持続可能な行政運営の下で、湖南省にとって望ましい特色のある公共施設等配置の在り方を示し、時代の変化に対応した市民サービスを継続的に提供することにより、誰もが住み続けたいくなるような魅力あるまちづくりを推進することを目的とする。

●平成28年3月『湖南省公共施設等総合管理計画』を策定

湖南省公共施設白書で整理した公共施設等における現状の課題や取組の方向性などを踏まえ、本市の身の丈に応じた施設保有量等の実現や、将来ニーズに対応した施設再編成の方向性を示すことを目的に策定したもの。

■公共施設等のマネジメント実践のための組織体制



■公共施設等マネジメントにおける基本目標

公共施設の保有に必要となる経費の不足を解消するため、次の計画数値目標を設定

	将来費用の不足額 10億7,000万円/年(将来費用の約46%分) 40年間で428億円の削減が必要	
	総量削減(施設の延床面積削減)による将来費用の削減 281億円(30.0%) 削減床面積: 73,000㎡(35.7%)	事業手法の適正化等による事業運営コストの削減 147億円(16.0%)
計画導入段階 1~10年目 平成28~37年度	37億円(4.0%) 年あたり3億7,000万円 削減床面積: 10,000㎡(5.1%)	37億円(4.0%) 年あたり3億7,000万円
計画施行段階 11~40年目 平成38~67年度	244億円(26.0%) 年あたり8億1,333万円 削減床面積: 63,000㎡(30.6%)	110億円(12.0%) 年あたり3億6,666万円
	8%の削減	38%の削減

●令和3年3月『湖南省公共施設等総合管理計画個別施設計画』を策定

公共施設等総合管理計画で示した方向性に基づいた施設再編および適正な維持管理による長寿命化の推進を図ることを目的に策定したもの。

※「総合管理計画」と策定期間が異なることから、一部の施設において整合性がとれていない。

令和4年4月1日(総務省)

『公共施設等総合管理計画の策定等に関する指針』改訂

公共施設等総合管理計画の策定にあたっての指針の改訂等について

○地方公共団体において、本指針の改訂内容を踏まえた公共施設等総合管理計画の見直しを令和5年度末までに完了させるよう要請

令和5年10月10日(総務省)

『公共施設等総合管理計画の策定等に関する指針』改訂

○個別施設計画の記載事項と重複する内容は個別施設計画に記載することで足りる(整合性)

○(前)削減目標の定量化、PDCAサイクルの確立に努めること⇒(後)望ましい

令和6年3月 公共施設等総合管理計画および個別施設計画の改訂